

(別紙第3)

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

受付印	家事 調停 申立書 事件名 審判	婚姻費用分担請求 婚姻費用増額請求 婚姻費用減額請求
収入印紙 円	(この欄に申立て1件あたり収入印紙1,200円分を貼ってください。)	
予納郵便切手 円		

家庭裁判所 御中 平成 年 月 日	申立人 (又は法定代理人など) の記名押印	印
-------------------------	-----------------------------	---

添付書類	(審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。) 戸籍謄本(全部事項証明書)(内縁関係に関する申立ての場合は不要) 申立人の収入に関する資料(源泉徴収票, 給与明細, 確定申告書, 非課税証明書等の写し)	準口頭
------	--	-----

申立人	住所	〒 - (方)	
	フリガナ氏名	大正 昭和 平成	年 月 日生 (歳)
相手方	住所	〒 - (方)	
	フリガナ氏名	大正 昭和 平成	年 月 日生 (歳)
未成年の子	住所	申立人と同居 / 相手方と同居 / その他()	平成 年 月 日生
	フリガナ氏名		(歳)
	住所	申立人と同居 / 相手方と同居 / その他()	平成 年 月 日生
	フリガナ氏名		(歳)
	住所	申立人と同居 / 相手方と同居 / その他()	平成 年 月 日生
	フリガナ氏名		(歳)

(注) 太枠の中だけ記入してください。 の部分は、該当するものにチェックしてください。

この申立書の写しは、法律の定めるところにより、申立ての内容を知らせるため、相手方に送付されます。

申立ての趣旨は、当てはまる番号を で囲んでください。
の部分は、該当するものにチェックしてください。

申 立 て の 趣 旨	
(相手方 / 申立人)は、(申立人 / 相手方)に対し、婚姻期間中の生活費として、次のとおり支払うとの(調停 / 審判)を求めます。	
1	毎月(金.....円 / 相当額)を支払う。
2	毎月金.....円に増額して支払う。
3	毎月金.....円に減額して支払う。

申 立 て の 理 由	
同 居 ・ 別 居 の 時 期	
同居を始めた日... 昭和.....年.....月.....日 平成.....	別居をした日... 昭和.....年.....月.....日 平成.....
婚 姻 費 用 の 取 決 め に つ い て	
1 当事者間の婚姻期間中の生活費に関する取り決めの有無 あり(取り決めた年月日:平成.....年.....月.....日) なし	
2 1で「あり」の場合	
(1) 取決めの種類	
口頭 念書 公正証書	(.....家庭裁判所.....(支部 / 出張所)) 平成.....年(家.....)第.....号
調停 審判 和解	
(2) 取決めの内容 (相手方 / 申立人)は、(申立人 / 相手方)に対し、平成.....年.....月から.....まで、毎月.....円を支払う。	
婚 姻 費 用 の 支 払 状 況	
現在、毎月.....円が支払われている(支払っている)。 平成.....年.....月ころまで、毎月.....円が支払われていた(支払っていた)が、その後、(減額された(減額した) / 支払がない(支払っていない)。 支払はあるが、一定しない。 これまで支払はない。	
婚姻費用の分担の増額または減額を必要とする事情(増額・減額の場合のみ記載してください。)	
申立人の収入が減少した。 申立人が仕事を失った。 申立人自身・未成年者にかかる費用(学費 医療費 その他)が増加した。 その他(.....)	相手方の収入が増加した。